

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア

コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 北角浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	550	△0.4	17	93.6	29	—	27	—
25年3月期第1四半期	553	161.7	9	—	1	—	△30	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 —百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.42	6.34
25年3月期第1四半期	△7.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,233	1,064	47.7	250.85
25年3月期	2,570	1,020	39.7	240.71

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,064百万円 25年3月期 1,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,456	45.6	83	—	76	—	46	—	10.96
通期	2,674	5.6	265	—	251	—	201	—	47.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	4,303,200 株	25年3月期	4,299,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	58,000 株	25年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	4,242,925 株	25年3月期1Q	4,226,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額及び1株当たり純資産金額を算定しております。
 業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の堅調な経済成長や円安による輸出環境の改善により景気回復の兆しが見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきまして、当年6月に米国で開催されましたE3 (Electronic Entertainment Expo) にて、「PlayStation4」や「Xbox One」等の新ハードウェアや新作ゲームタイトルの発表が行われ、市場への期待が高まりました。しかしながら、コンシューマーゲーム業界におきましては、市場の拡大に貢献する要因が少なく、ハードウェア・ソフトウェア事業ともに、昨年度に比べて減少傾向となりました。モバイル業界におきましては、スマートフォンアプリの販売を行う「Google Play」及び「App Store」の売上が増加するなど、市場の拡大が進んでおります。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、20周年記念タイトルを含む4タイトルを発売いたしました。また、20周年記念イベントのプロモーション活動を行い、当社ブランド及び当社タイトル認知度の更なる向上に努めてまいりました。オンライン事業におきましては、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Storeにてダウンロードソフトの値下げキャンペーン及びPlayStation3用カスタムテーマの配信等を行いました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップである「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高550,675千円（前年同期比0.4%減）、営業利益17,990千円（前年同期比93.6%増）、経常利益29,705千円（前年同期比1,656.2%増）、四半期純利益27,274千円（前年同四半期は30,298千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全4タイトルの発売を行いました。

国内市場では『魔界戦記ディスガイア3 Return PlayStationVita the Best』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Z/X 絶界の聖戦』（PlayStation3専用ゲームソフト）の2タイトルを発売いたしました。

海外市場では『Black Rock Shooter The Game』（邦題：『ブラック★ロックシューター THE GAME』、PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『Time and Eternity』（邦題：『時と永遠～トキトワ～』、PlayStation3専用ゲームソフト）の2タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズ『ディスガイア D2』カンバッチの製作や、当社通信販売サイトにて「日本一ソフトウェア 夏のスペシャルパック」の販売等を行いました。また、20周年記念イベントに向けたプロモーション活動と共に、顧客満足度の向上と新規顧客の獲得に向けて「アサギ 全国巡業イベントin神戸」をはじめとしたイベントを行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高335,402千円、営業損失36,971千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、前期よりGREE及びヤマダゲームにて配信をいたしております『ディスガイア魔界コレクション』を、当年5月よりMobageで配信を開始いたしました。また、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリ『ディスガイア レギオンバトル』の配信を当年4月より開始いたしました。さらに、PlayStation Storeにて『ディスガイア D2』の追加ダウンロードコンテンツの配信及びダウンロード専用ゲームソフトの値下げキャンペーンを行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高155,728千円、営業利益79,694千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ピックリマン』の配信をしてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高26,024千円、営業利益22,463千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されております『神々の悪戯（あそび）』（PlayStation Portable専用ゲーム）の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱う「プリニークラブ」の運営におきまして、新規入会キャンペーン等の新規顧客獲得に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高33,520千円、営業利益15,761千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,233,090千円となり、前連結会計年度末に比べ337,513千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末に比べ491,281千円の減少）、商品及び製品の増加（前連結会計年度末に比べ、248,598千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加（前連結会計年度末に比べ52,881千円の増加）等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,168,180千円となり、前連結会計年度末に比べ381,538千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少（前連結会計年度末に比べ275,000千円の減少）、買掛金の減少（前連結会計年度末に比べ86,270千円の減少）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（前連結会計年度末に比べ11,576千円の減少）等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,064,910千円となり、前連結会計年度末に比べ44,024千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末に比べ22,258千円の増加）、利益剰余金の増加（前連結会計年度末に比べ22,601千円の増加）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成25年3月期決算短信（平成25年5月10日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

業績予想に関する留意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,256	553,987
受取手形及び売掛金	690,538	199,256
商品及び製品	48,265	296,864
仕掛品	215,971	66,853
繰延税金資産	4,142	4,342
その他	167,529	240,699
貸倒引当金	△1,700	△1,700
流動資産合計	1,752,003	1,360,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	343,004	338,917
機械装置及び運搬具(純額)	4,583	8,691
土地	212,687	212,687
その他(純額)	31,730	34,409
有形固定資産合計	592,006	594,705
無形固定資産		
投資その他の資産	11,307	10,733
投資有価証券	185,593	238,474
その他	29,693	28,873
投資その他の資産合計	215,286	267,348
固定資産合計	818,600	872,787
資産合計	2,570,604	2,233,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,739	118,469
短期借入金	900,000	625,000
1年内返済予定の長期借入金	46,872	46,730
未払金	98,650	79,985
未払法人税等	9,103	9,470
賞与引当金	27,987	24,181
売上値引引当金	49,550	48,361
その他	51,327	66,864
流動負債合計	1,388,230	1,019,062
固定負債		
長期借入金	143,438	131,862
退職給付引当金	14,227	15,197
その他	3,822	2,058
固定負債合計	161,488	149,118
負債合計	1,549,718	1,168,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	246,180	246,342
資本剰余金	236,180	236,342
利益剰余金	586,001	608,602
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	1,051,490	1,074,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,302	3,142
為替換算調整勘定	△34,907	△12,648
その他の包括利益累計額合計	△30,604	△9,506
純資産合計	1,020,885	1,064,910
負債純資産合計	2,570,604	2,233,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	553,122	550,675
売上原価	288,532	281,635
売上総利益	264,589	269,040
販売費及び一般管理費	255,296	251,050
営業利益	9,293	17,990
営業外収益		
受取利息	201	522
受取配当金	502	166
為替差益	—	11,444
その他	450	2,549
営業外収益合計	1,155	14,682
営業外費用		
支払利息	1,184	1,725
為替差損	7,572	—
その他	—	1,242
営業外費用合計	8,757	2,967
経常利益	1,691	29,705
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,064
特別利益合計	—	1,064
税金等調整前四半期純利益	1,691	30,769
法人税等	31,989	3,494
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30,298	27,274
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,298	27,274

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△30,298	27,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,436	△1,159
為替換算調整勘定	△16,135	22,258
その他の包括利益合計	△17,571	21,098
四半期包括利益	△47,869	48,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,869	48,373
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	425,435	72,020	27,921	27,745	553,122	—	553,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	425,435	72,020	27,921	27,745	553,122	—	553,122
セグメント利益又はセグメント損失(△)	4,221	40,227	20,565	4,226	69,241	(59,947)	9,293

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額59,947千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	335,402	155,728	26,024	33,520	550,675	—	550,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	335,402	155,728	26,024	33,520	550,675	—	550,675
セグメント利益又は又はセグメント損失(△)	△36,971	79,694	22,463	15,761	80,946	(62,956)	17,990

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額62,956千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。